

# 埼玉県老人クラブ実態調査 (結果報告)

令和5年4月  
埼玉県福祉部高齢者福祉課  
公益財団法人埼玉県老人クラブ連合会

# 調査の概要

## 目 的

コロナ禍で老人クラブ活動が自粛を余儀なくされ、会員が減少し、老人クラブの存続自体が困難な状況にある中、また、設立60周年記念を迎えた中、改めて各老人クラブの存在意義や定義、活動内容の見直しなど検討する機会となるよう、アンケート調査を実施する。

## 調査対象

埼玉県老人クラブ連合会に加入する単位老人クラブ（2,200クラブ）

## 調査実施時期

令和4年7月から令和4年12月

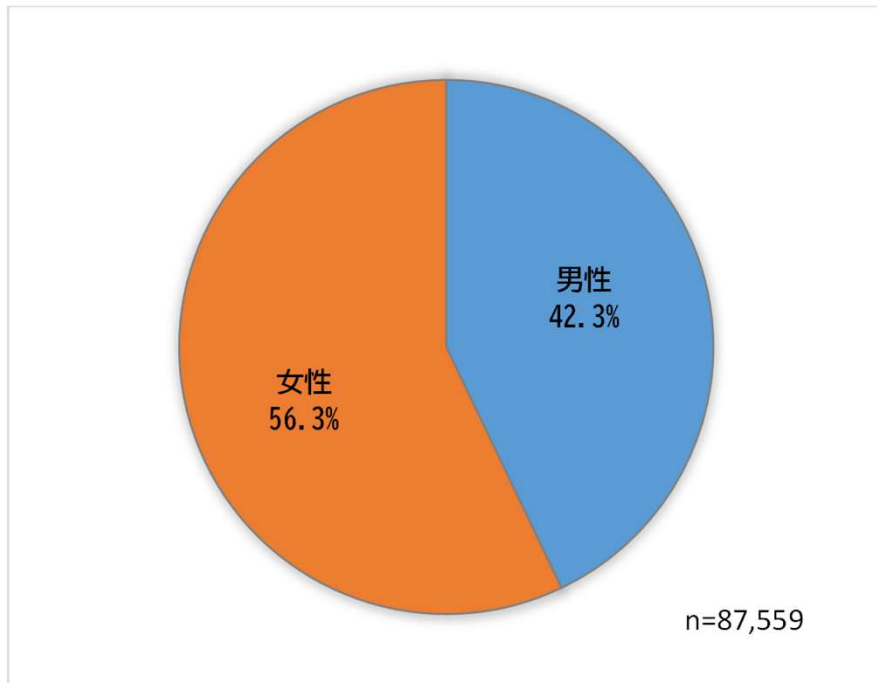
## 調査方法

埼玉県老人クラブ連合会から市町村老人クラブ連合会を通じて単位老人クラブへのアンケート調査を実施し、1,585クラブから回答を得た。（回答率72%）

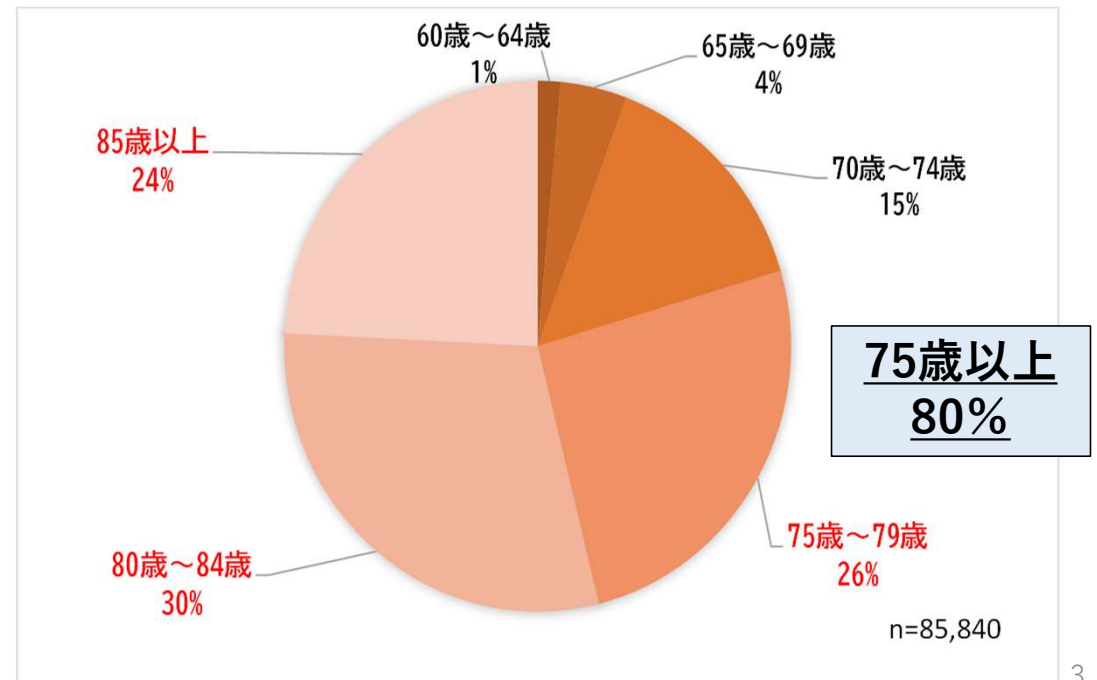
# 老人クラブの状況

- 会員の男女別の割合は、男性42.3%、女性56.3%となっており、女性会員が若干多くなっている。【図1】
- 年齢別に見ると、80歳～84歳が最も多く、75歳以上が全体の80%を占めている。一方で、60代は5%となっている。【図2】

【図1】 会員の性別



【図2】 会員の年齢

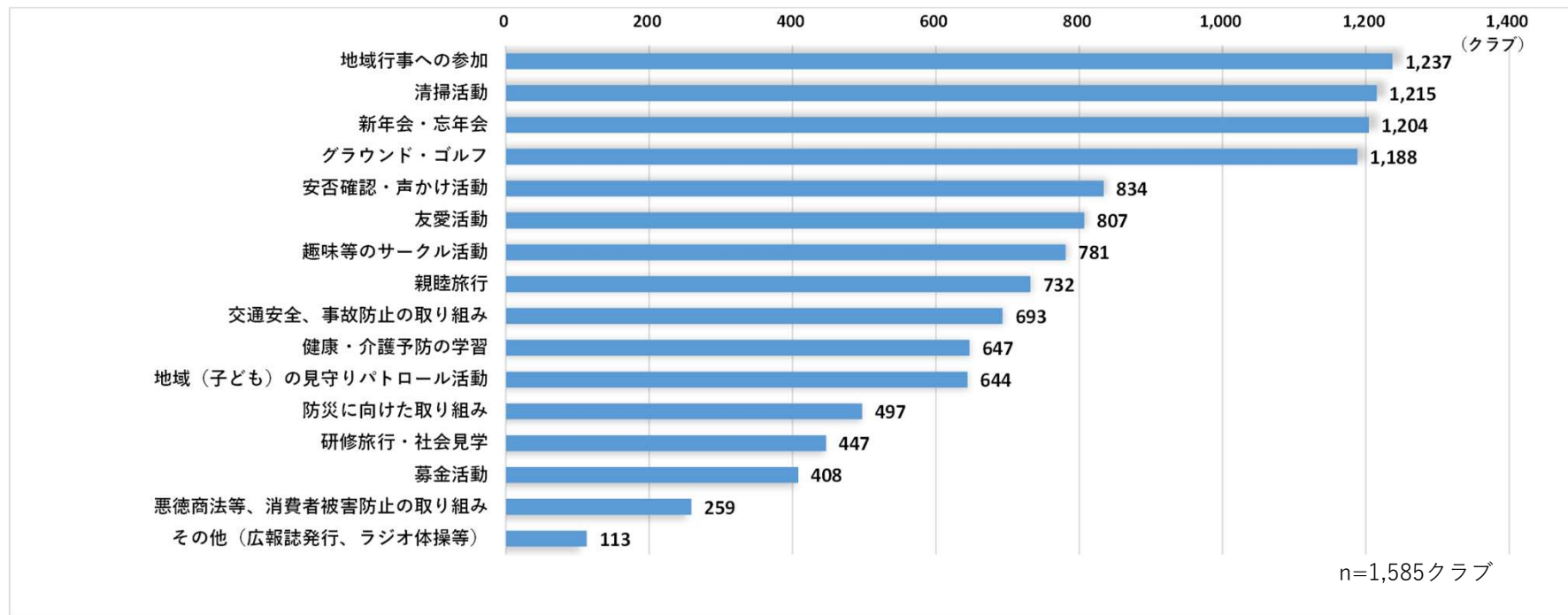


# 老人クラブの状況

- 老人クラブが実施している活動で最も多いのは、地域行事への参加（1,237クラブ）で、次いで清掃活動（1,215クラブ）、新年会や忘年会の実施（1,204クラブ）となっている。【図3】
- 友愛活動（声掛け活動）は、807クラブ（回答全体の51%のクラブ）が実施している。

【図3】実施している活動

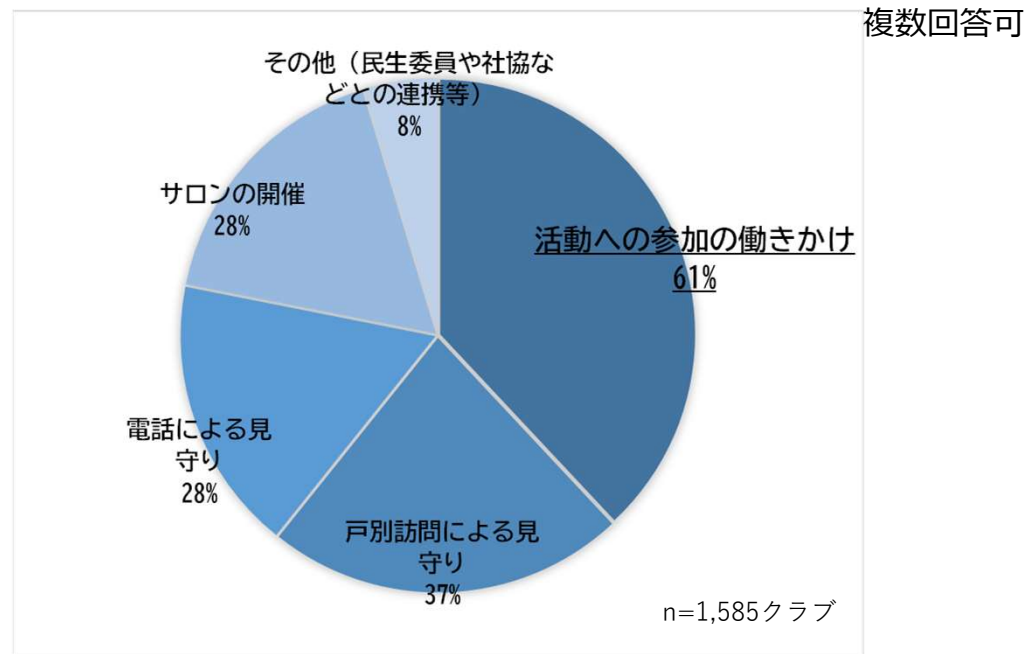
※複数回答可



## 地域で孤立している高齢者への支援の状況

- 非会員の独居高齢者や地域で孤立している高齢者への声かけなどの実施状況については、活動への参加の働きかけ（61%）が最も多く、次いで戸別訪問による見守り（37%）、電話による見守り（28%）となっている。【図4】
- その他の回答では、民生委員や社協などと連携して声掛けを行ったり、会報誌の配布や資源回収の際に声かけを行っているなどとなっている。

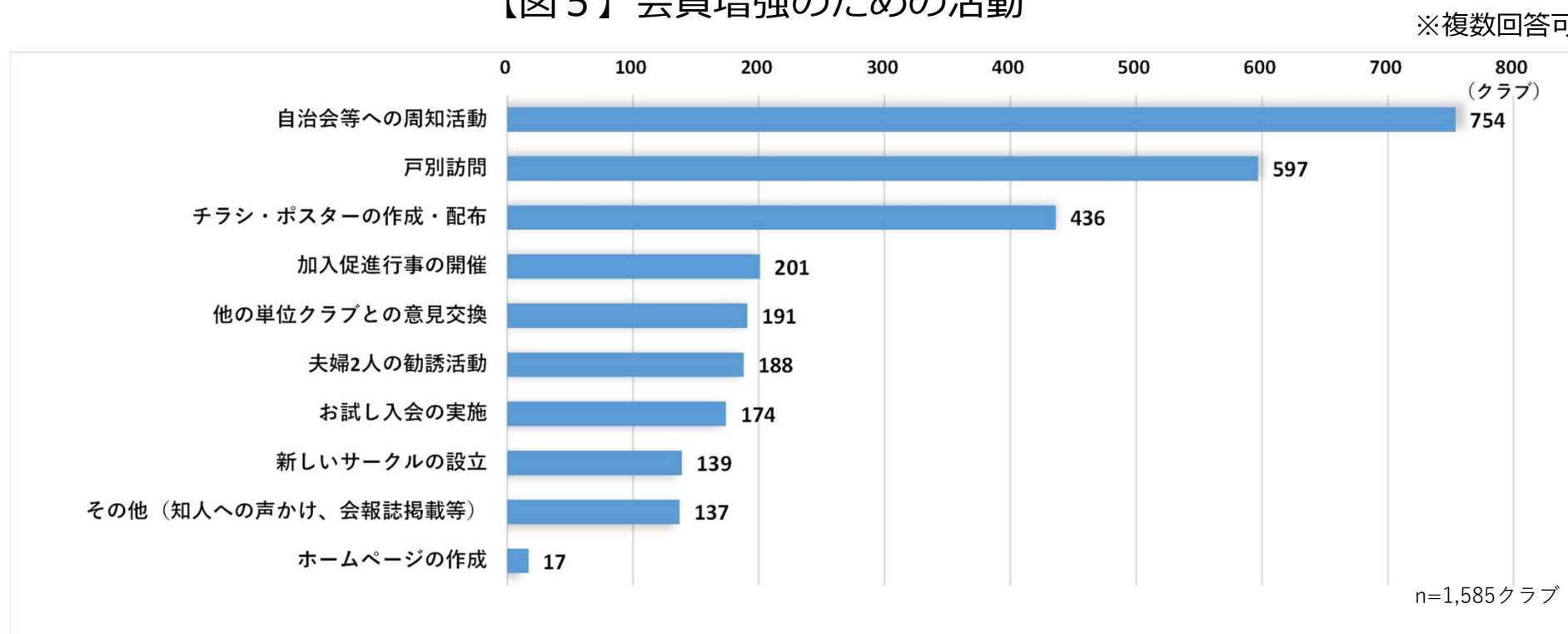
【図4】 地域で孤立している高齢者への支援の状況



# 会員増強のための活動

- 会員増強のための活動については、自治会等への周知活動（754クラブ）が最も多く、次いで戸別訪問（597クラブ）、チラシ・ポスターの作成や配布（436クラブ）となっている。【図5】

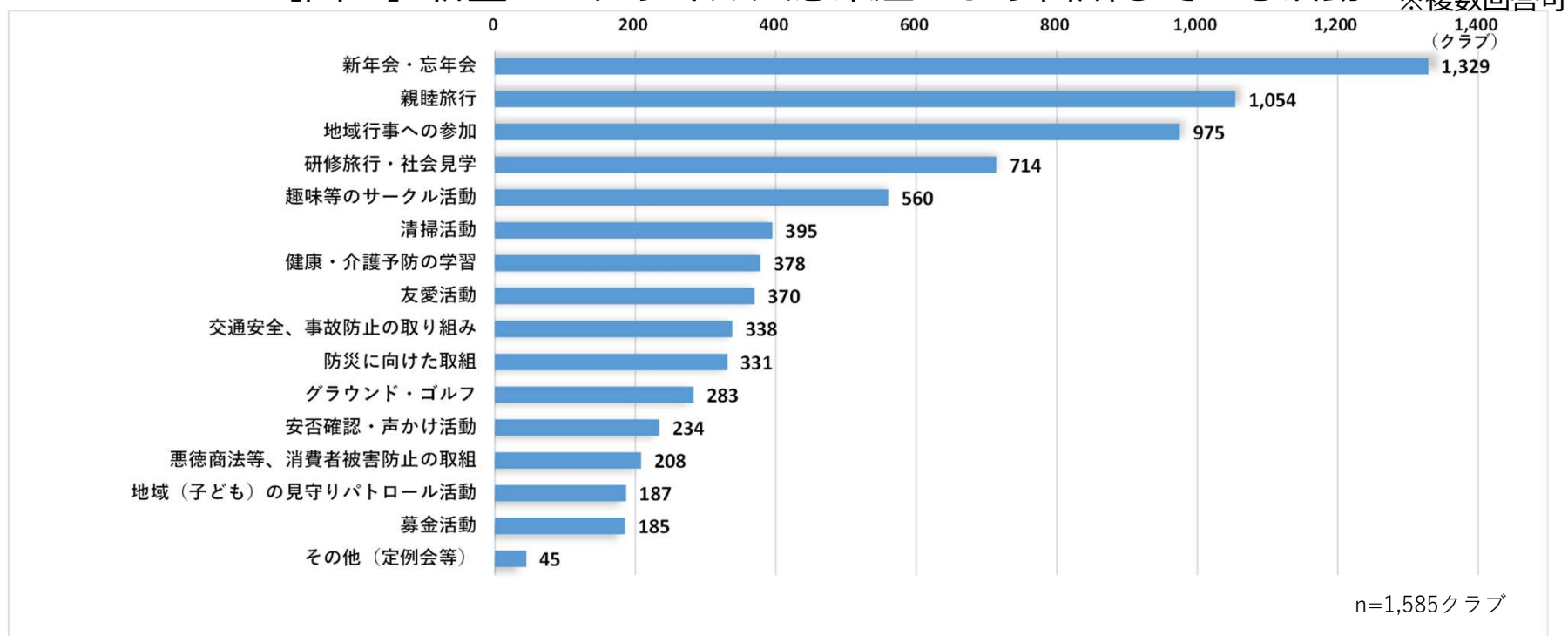
【図5】 会員増強のための活動



# 新型コロナウイルス感染症の影響について

- 新型コロナウイルス感染症の影響により自粛している活動については、新年会や忘年会、親睦旅行といった人が集まるイベントを自粛している。
- 一方、友愛活動、地域の見守り活動、声掛け活動などは、自粛しているクラブが少ないことから、コロナ禍においても多くの老人クラブで活動を継続している。【図6】

【図6】 新型コロナウイルス感染症により自粛している活動



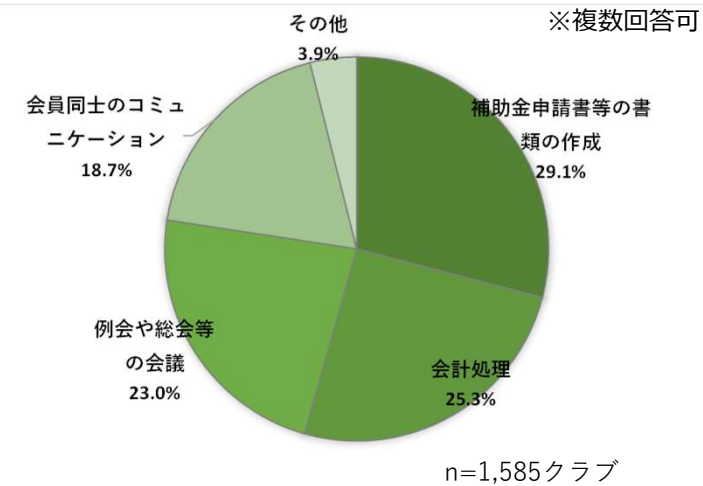
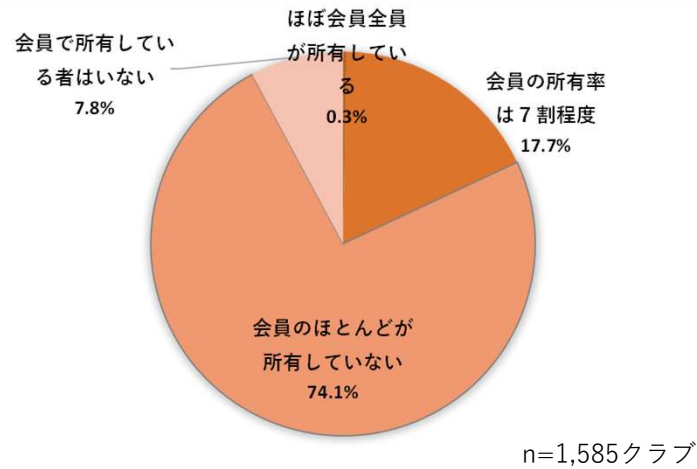
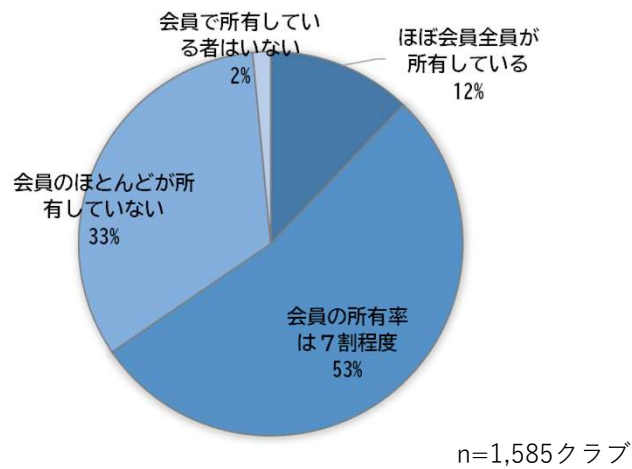
# デジタル機器の所有状況について

- スマートフォンの所有状況は、会員の7割以上が所有しているクラブが全体の65%を占めている。【図7】
- 一方、パソコンの所有状況は、会員のほとんどが所有していない。【図8】
- デジタル機器の活用状況については、補助金の申請書類の作成や会計処理などの事務作業が全体の半数以上を占めており、その他、会議のオンライン化、会員同士のコミュニケーションツールとして使用している。【図9】

【図7】 スマートフォンの所有状況

【図8】 パソコンの所有状況

【図9】 デジタル機器の活用状況

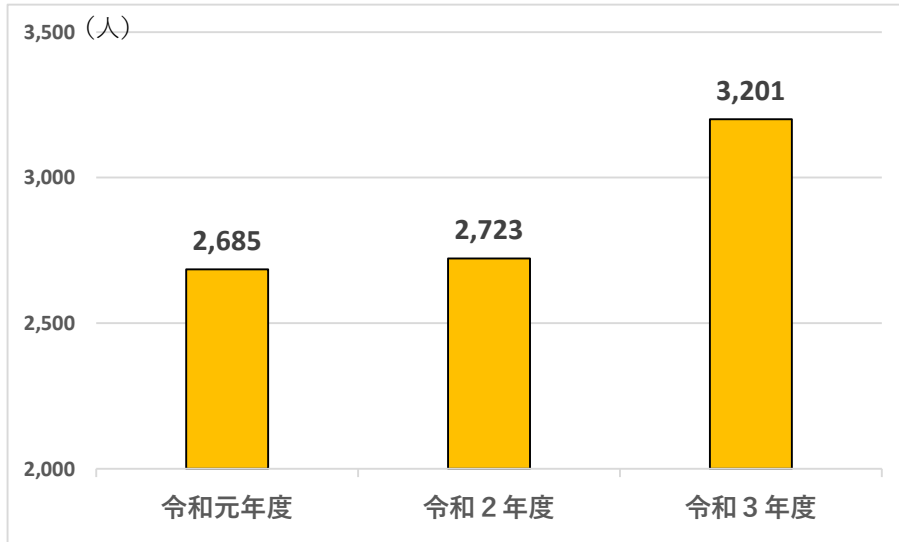




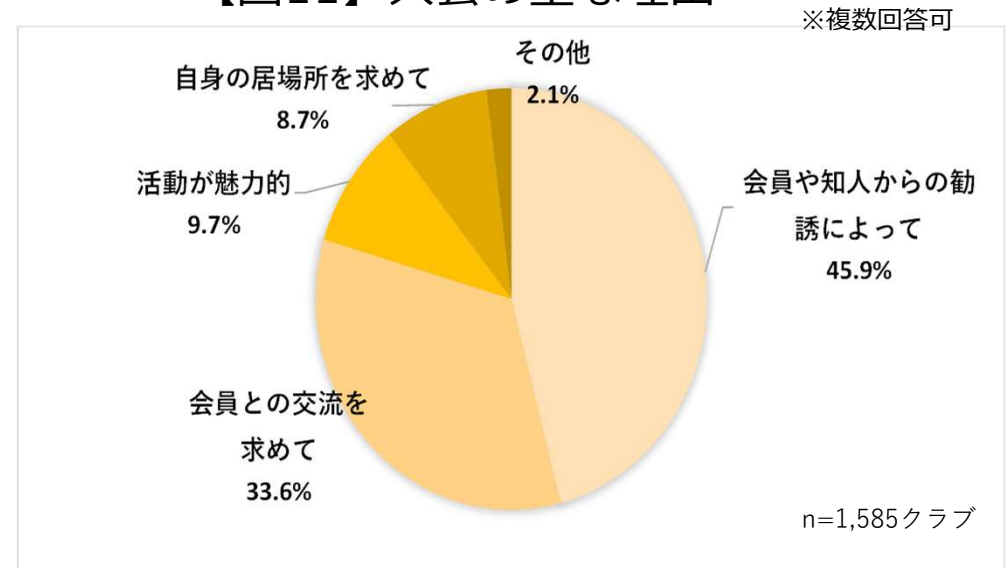
# 会員の入会の状況

- 令和3年度の新規入会者数は3,201人で、令和2年度と比較すると約500人増加している。【図10】
- 入会に至った主な理由としては、会員や知人からの勧誘（45.9%）が最も多く、次いで会員との交流（33.6%）、活動が魅力的（9.7%）となっている。【図11】

【図10】 直近3年間の新規入会者数



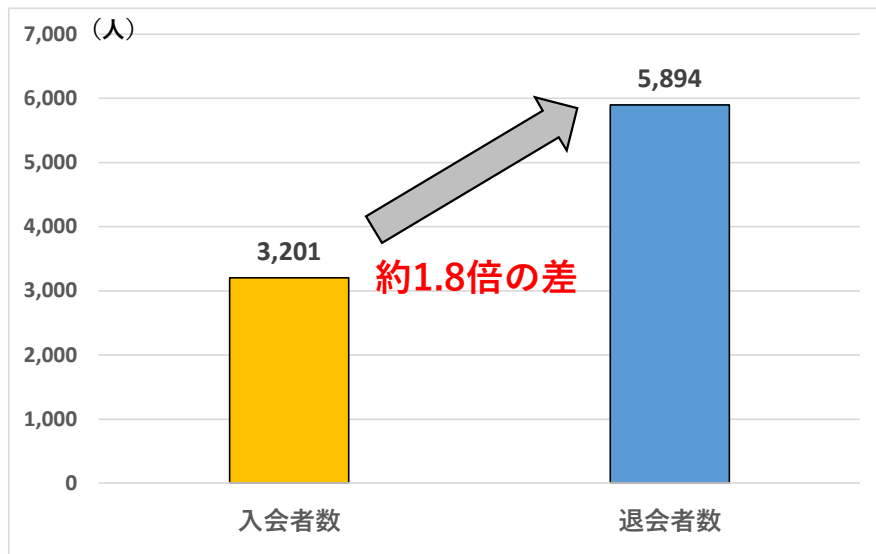
【図11】 入会の主な理由



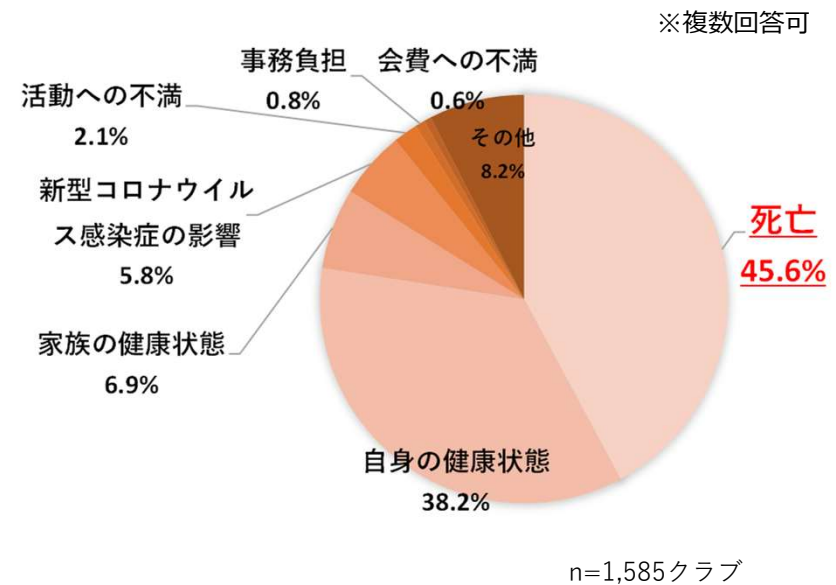
# 会員の退会の状況

- 令和3年度の新規入会者数は3,201人で、退会者数は5,894人となっており、退会者数の方が1.8倍多くなっている。【図12】
- 退会に至った主な理由としては、死亡（45.6%）が最も多く、次いで自身の健康状態（38.2%）となっている。【図13】
- 新型コロナウイルス感染症の影響による退会は全体の5.8%となっている。【図13】

【図12】 会員の入・退会者数（R3年度）



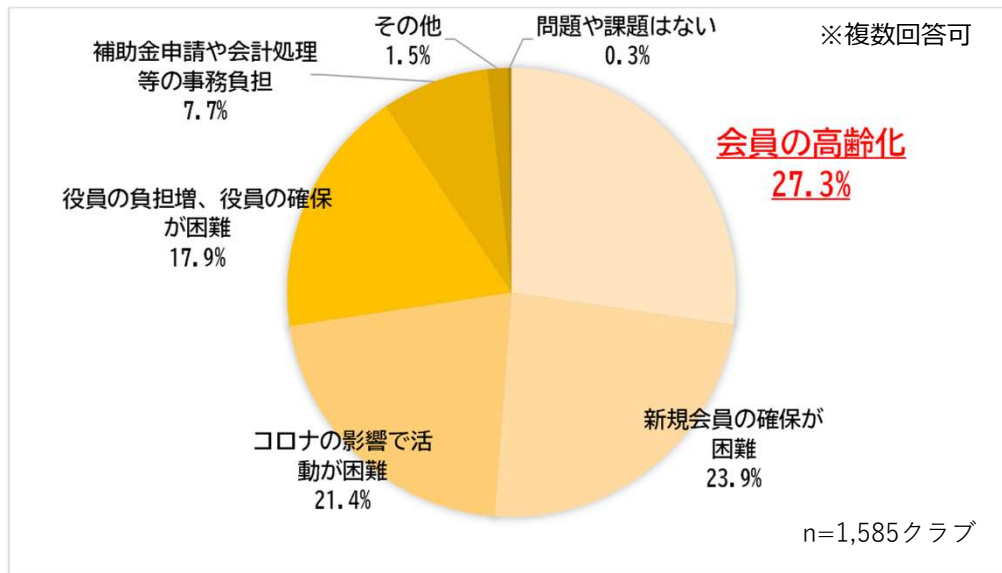
【図13】 退会の主な理由



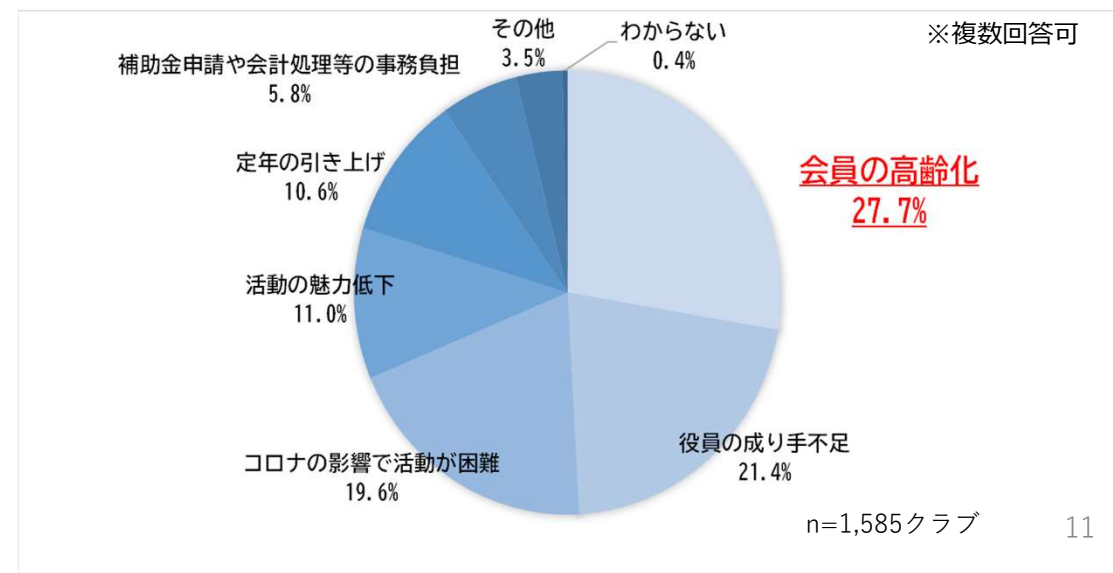
# 老人クラブが抱えている問題と課題

- 老人クラブが抱えている問題と課題としては、会員の高齢化（27.3%）が最も多く、次いで新規会員の確保が困難（23.9%）、コロナの影響で活動が困難（21.4%）、役員（会長など）の負担増、役員の確保が困難（17.9%）となっている。【図14】
- また、会員の高齢化や役員の担い手不足は、老人クラブが減少している原因になっている。【図15】
- 役員の負担増やその担い手の確保が困難な背景には、会員の高齢化によって、会計処理等の事務ができる者がいない、または、今はその者がいても後継者がいないという問題がある。アンケートの回答の中には、会長1人に事務処理が集中しており、後継者が見つからなければ解散の他ないといった声もある。

【図14】 老人クラブが抱える問題や課題



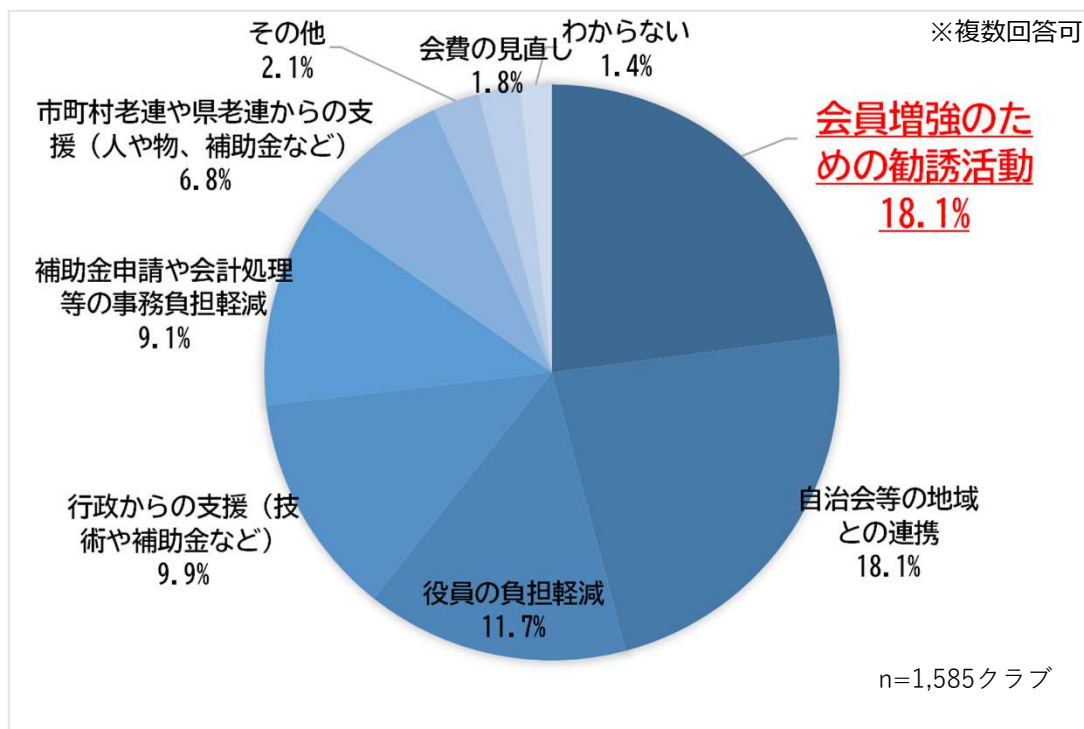
【図15】 老人クラブが減少している原因



# 老人クラブ活動の継続のために必要なこと

- 老人クラブ数・会員数が減少していく中で活動を継続していくために何が必要と考えているかという問いに対して、会員増強のための勧誘活動（18.1%）が最も多く、次いで自治会等の地域との連携（18.1%）、役員の負担軽減（11.7%）となっている。【図16】

【図16】 老人クラブ活動の継続のために必要なこと



## 今後、実施したい活動

- 今後、会員や地域のために実施したい活動としては、趣味等のサークル活動（749クラブ）が最も多く、次いで、健康づくり・介護予防のための体操教室等の開催（663クラブ）、非会員の高齢者の呼びかけ（603クラブ）となっている。【図17】
- 会員間の活動以外にも、高齢者の孤立防止の取組（427クラブ）や地域の防災に向けた取組（334クラブ）といったように、地域活動の実施についても活動の意欲を伺うことができる。

【図17】 今後、会員や地域のために実施したい活動

